

いね か 稲 刈 り

2500年ほど前の稲刈りは、石のほうちよう包丁で、穂先ほさきだけを刈り取っていました。明治時代になると、根元からかまで刈るようになりました。今でも、山あいなどの小さな田んぼは、かまで刈る所もありますが、ほとんどは、コンバインで刈り取り、だっこくして、もみをふくろにつめるところまでします。



(コンバインでの稲刈りの様子)



(稲刈り前の田んぼ)

米の豆知識

1本の稲からもみが約70つぶとれます。田植えでみんなが一か所に植えた稲が3本ぐらいでした。その後、分けつして20本ぐらいに分かれます。

だから、70つぶ×20本=1400つぶになります。ごはん1ぱい分の米のつぶの量は、2000つぶです。みなさんが植えた3本のなえ苗が、およそごはん1ぱい分になるのです。

右手でかまを持ち、左手で稲のかぶをにぎります。その時、左手の親指が上になるようにします。そして、かまをくきに当て、手前に引きます



(バケツ稲の稲刈りの様子)

それでは、安全に気をつけて稲刈りをしよう。
稲刈りをした後、気付いたことや思ったことを書いてみよう。